

# **葉面散布肥料の紹介**

## ●葉面散布肥料の特長

(1) 通常の肥料（根に施用）  
→元肥（袋物肥料）として施用

基本の肥料、長期間作用



## (2) 液肥の葉面散布

即効、短期間作用

欲しい  
ときに

素早く

生育のコントロール



こんなときには葉面散布を！

① 生育のコントロール、品質向上



② 根から吸われにくい成分の補給

カルシウムを補給し、欠乏対策と、丈夫な生育に

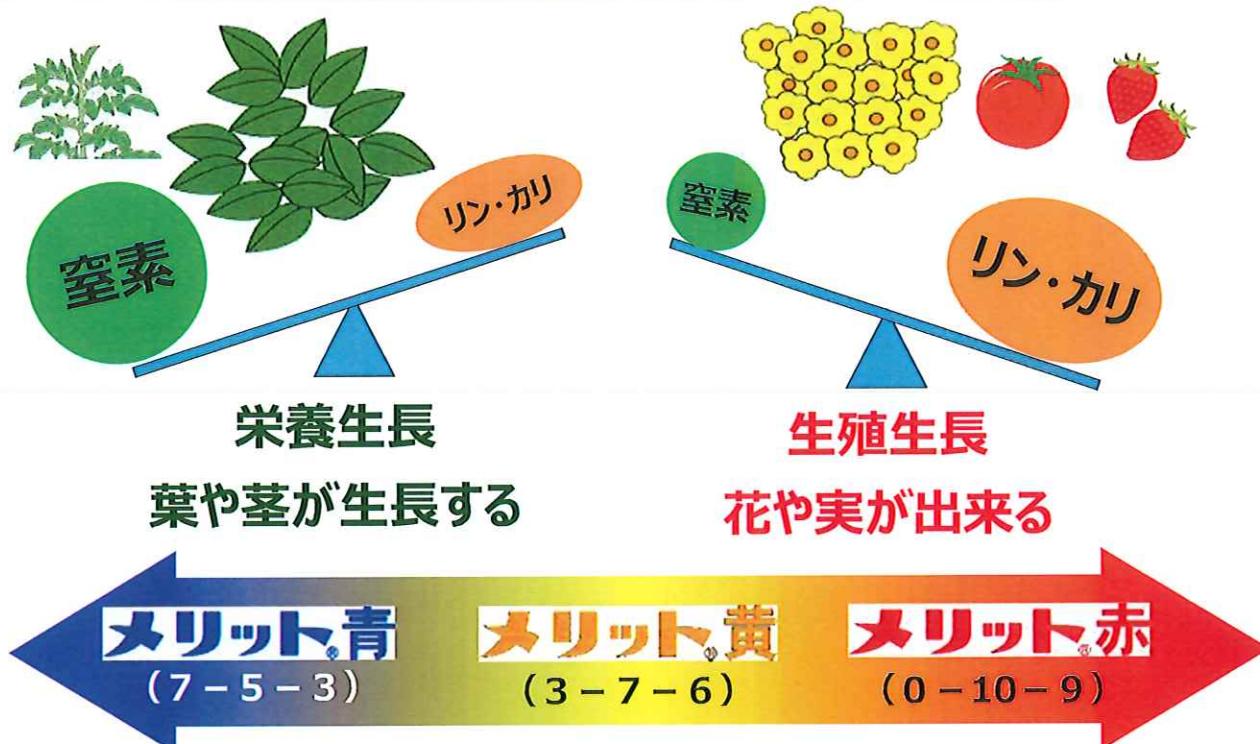
③ あまみ、うまみのある作物づくりに

苦土・ミネラルの補給。

天候不順、日照不足などの影響を軽減し

品質安定と、健全な生育に。

## 葉面散布 ①生育コントロール



## トマトでのメリットの使い方



→ 芯が細くなり始めや葉色が薄くなった場合には…?  
窒素が足りない又は根からの吸収が弱っています。

**メリット<sup>®</sup>青**

を500倍で葉面散布。



→ 葉色も良い、樹勢も安定している場合には…?  
生育が順調に推移しています。

**メリット<sup>®</sup>黄**

を500倍で葉面散布。



→ 葉色が濃い、樹勢が強くなっている場合には…?  
窒素過剰又は窒素の消化が悪くなっています。

**メリット<sup>®</sup>赤**

を500倍で葉面散布。

## メリット赤（リン・カリ系）の徒長抑制効果

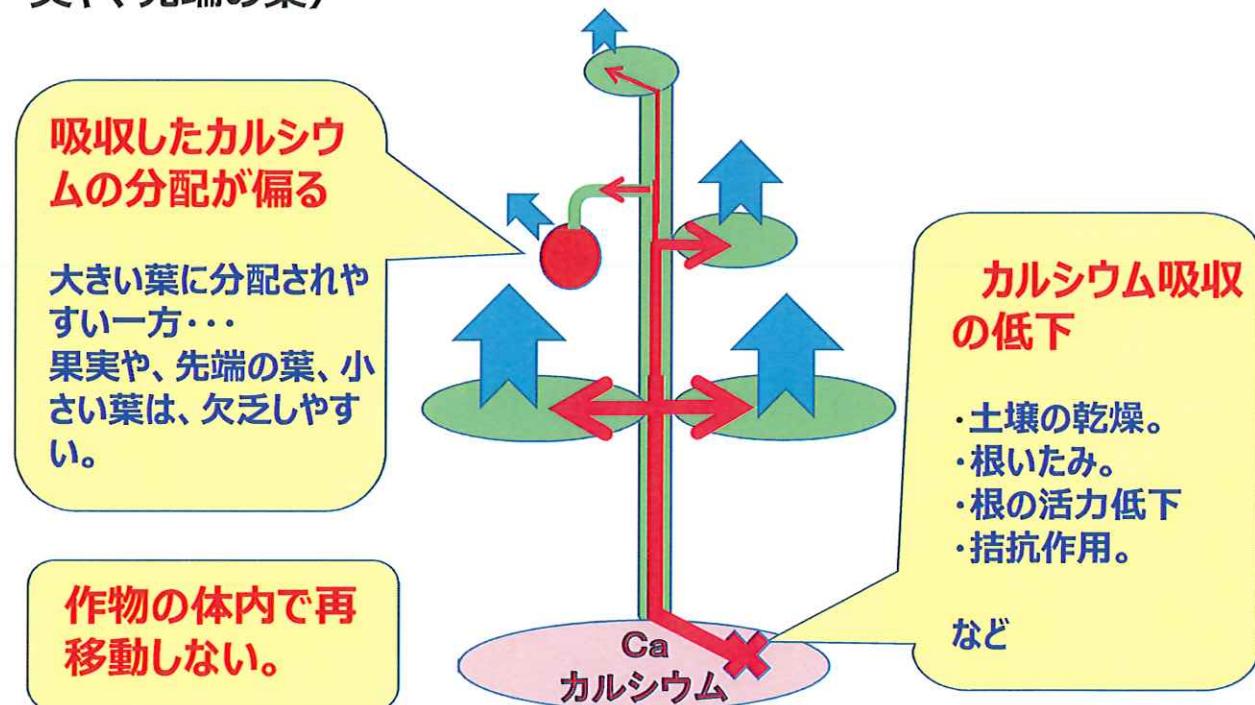
トマトの育苗期に300倍で3回葉面散布をすると



- ① 草丈、草幅が小さくなる。
- ② 茎が細くなる。
- ③ 節間が短くなる。
- ④ 側枝が立ってくる。

## 葉面散布 ②根から吸われにくい成分の補給

**カルシウム**は土壤中に十分あっても、さまざまな要因で、吸收が間に合わず、カルシウムの欠乏症が発生する事が多いです。（とくに、果実や、先端の葉）



## カルシウム欠乏による生理障害の例

- トマト、ナス、ピーマン … 尻ぐされ症
- ねぎ … 葉先枯れ
- キュウリ … 落下傘葉
- 大根、小松菜、ほうれん草、春菊  
… 芯枯れ症
- ハクサイ、レタス、キャベツ … 芯ぐされ症、縁ぐされ症
- いちご … チップバーン、果実軟化
- メロン … 発酵果



尻腐れ

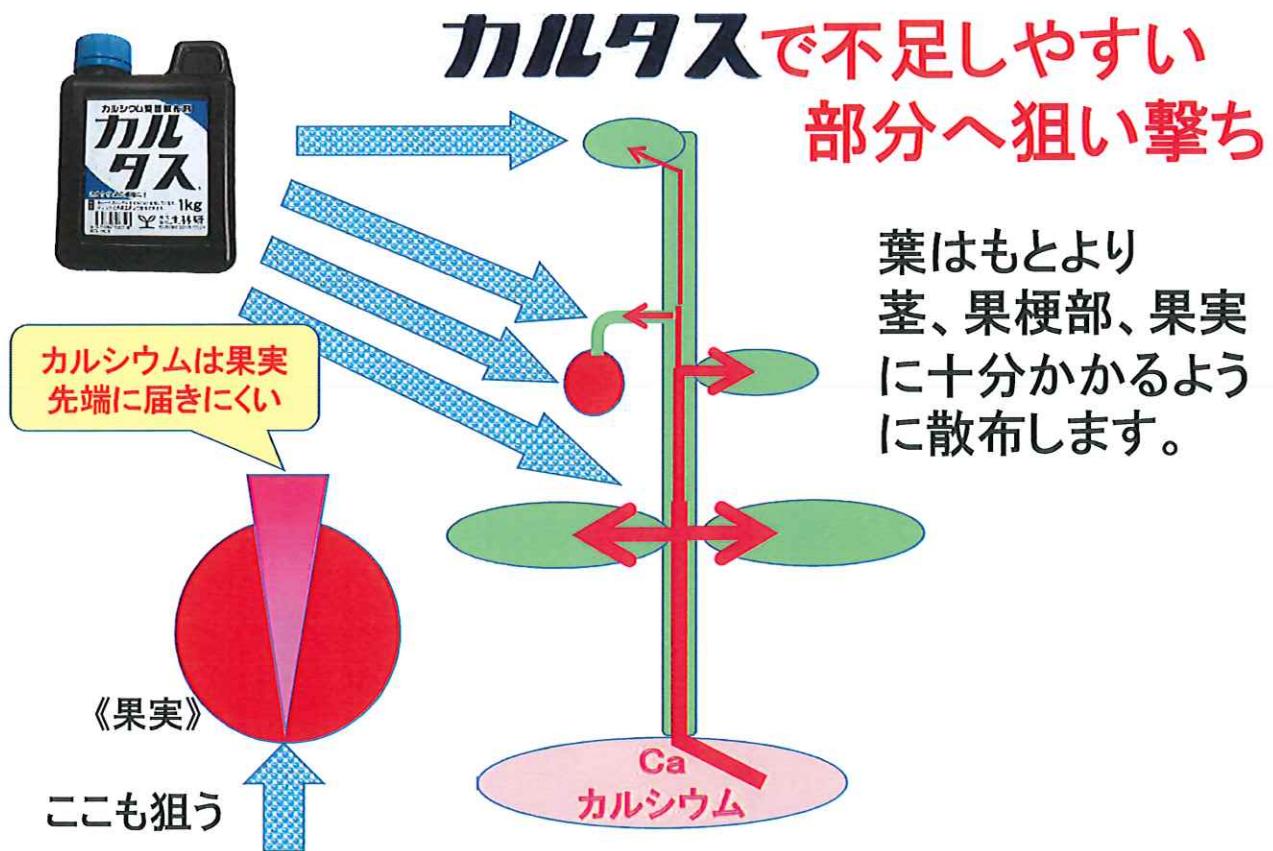
### その他作物全般

… 生長点の枯死、根の伸張停止、組織の軟化  
日持ち性低下、耐病性低下、生理機能低下 等



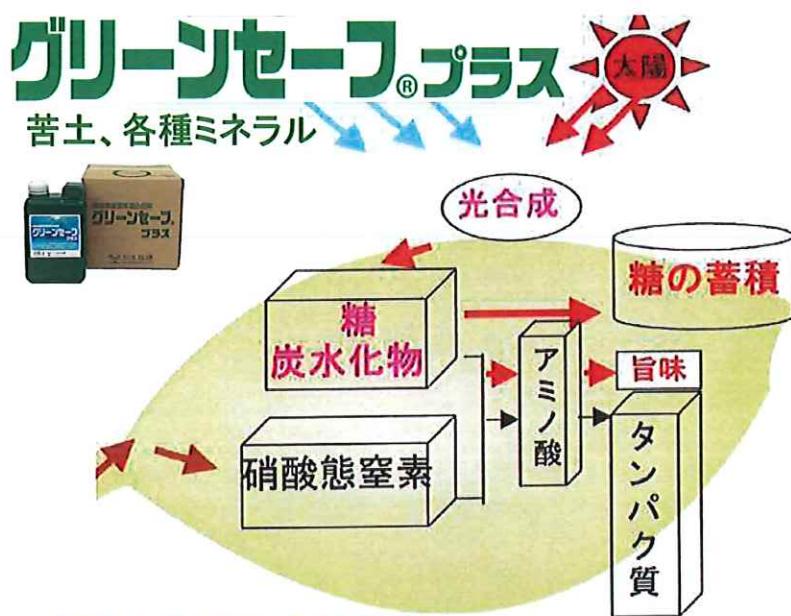
チップバーン・ガク枯れ

## 葉面散布でのカルシウム欠乏の対策（予防）

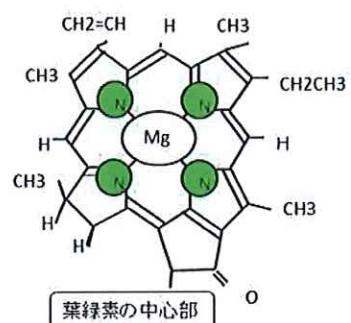


## 葉面散布 ③あまみ、うまみのある作物づくりに

**苦土・ミネラルの葉面散布**は葉緑素の充実  
をよくし、代謝・光合成を良くします。



天候不順・日照不足対策、  
うまみ・甘みのある作物づくりに有効です。



## 葉面散布の提案のまとめ



500倍

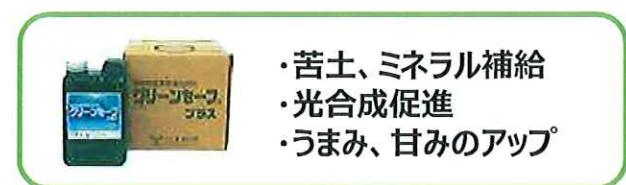
それぞれ単独  
あるいは、  
混用も、できます。

+



500～1000倍

+



1000倍



## 果菜類（長期取り）使い方

トマト ピーマン イチゴ キュウリ	育苗定植～開花期	収穫開始～収穫中
	<p>青 300倍(3回) 健苗育成 生育促進</p> <p>黄 300倍(3回) 樹勢維持 日照不足時</p>	<p>黄 樹勢にあわせて 300倍(3回以上)</p> <p>赤 雄花増加 花数増 着果促進</p>
		<p>黄 300倍(3回以上) 果実肥大促進 なり疲れ防止</p> <p>赤 300倍(3回以上) 徒長抑制</p>

開花～収穫開始まで  
生育コントロール

- メリット赤（または黄）500倍 +
- カルタス 500倍 +
- グリーンセーフプラス 1000倍

収穫開始後～  
樹勢維持

- メリット黄（または赤）500倍 +
- カルタス 500倍 +
- グリーンセーフプラス 1000倍

## 豆類 使い方

豆類	生育初期	開花開始～収穫中
	<b>青</b> 300～500倍(3回) 生育促進	<b>黄</b> 300倍(3回以上) 結実促進

エダマメ、ソラマメの場合  
生育初期に生育が弱い場合  
**生育促進、節数の確保に**

- メリット青 (または黄) 500倍  
+  
● カルタス 1000倍  
+  
● グリーンセーフプラス 1000倍

エダマメ、ソラマメの場合  
開花開始から7日おき3回以上  
**結実促進、肥大・食味向上に**

- メリット黄 500倍  
(樹勢強い場合は、赤)  
+  
● カルタス 1000倍  
+  
● グリーンセーフプラス 1000倍

## 葉面散布時の注意点

①夏場は朝夕の散布が適します。  
(気温は15~25℃が最適)

※散布液が乾く前に30℃以上が長く続く場合は散布を避ける。

②朝露が残っているとき、風の強いときは効果が劣る

③使用前後の散布器具の洗浄を徹底する

④コマツナ・チンゲンサイ・白菜は、メリットは薄めの濃度  
(800倍~1000倍)で散布してください。（葉が柔らかく、薬害がでやすいため）

## 商品ご紹介

(株)生科研

### ◎葉面散布肥料

品名・画像	特長
<b>メリット青</b> 	*成分(%)：窒素7、りん酸5、カリ3、微量元素。 *生育促進、葉色改善、樹勢強化に。 *樹勢がよわい時に散布する事で、回復を助けます。
<b>メリット黄</b> 	*成分(%)：窒素3、りん酸7、カリ6、微量元素。 *着果促進、果実・根茎肥大に。 *樹勢、葉色を維持したい時に散布。
<b>メリット赤</b> 	*成分(%)：りん酸10、カリ9、微量元素。 *成熟・着色促進、徒長抑制、品質向上、花芽分化に。 *樹勢がつよい時に散布し、徒長・過繁茂を抑制する。
<b>カルタス</b> 	*成分(%)：キレートカルシウム10% (CaO)。 *カルシウムを補給し、カルシウム欠乏の予防や、丈夫な生育に。 *メリット、グリーンセーフに混用して散布できます。
<b>グリーンセーフ プラス</b> 	*成分(%)：苦土8、マンガン0.2、ほう素0.1。 *苦土・ミネラルを補給し、光合成の促進、糖度やうまみ成分を増やす。 *メリット、カルタスに混用して散布できます。